

西国分寺駅北口駅前エリアの検討状況について

令和4年10月2日（日）と6日（木）に、第2回西国分寺駅北口駅前エリアの整備の実現化に向けた意見交換会を開催しました。

意見交換会概要

令和4年10月2日（日）

- ・場 所 いずみホールBホール
- ・時 間 午前10時～午前11時20分
- ・参加者 17名



■主な意見等

- 早期事業化を求める。まずはJ R武蔵野線沿いの道路を拡幅してアクセス道路整備してはどうか。
→整備内容の検討は順序だてて考える必要があり、駅前や周辺の整備内容とあわせてアクセス道路も検討していく。
- 大規模店舗は困難だと思う。原宿のように一定程度店舗が集積しないと活気は生まれない。移転先を確保しつつ、緑と商店街があると良い。
- 北口駅前含め、地域全体で避難場所が少ないことから防災機能も盛り込んでほしい。
→今後、必要規模や内容について検討していく。
- J R武蔵野線沿いのアクセス道路は北側道路（国3・4・6号線）の幅員との関係で、幅員16m以上になることはないと思われるため、明確に示しても良いのではないかと。
→意見交換をしながら駅前の絵姿が明らかになってから整理していく。
- 西国分寺駅北口の良い点は、改札を出てから雨にぬれずにタクシー乗り場まで行けることや福祉車両が止められることである。この利便性を残しつつコミュニティバスが利用できるような交通広場が良い。
- 参考事例は近隣で、形状や利用者数などの条件が似ている駅を示してほしい。例えば花小金井などは事例として良い。
- 武蔵小金井駅は高層マンションやスーパー、広場などがあり静かな環境でぜひ参考にしてほしい。
- 小規模なコンビニやスーパーは周辺にあるため、周辺に無いような商業施設・店舗ができるとう良い。
- 主婦目線では、国立駅構内の店舗の様に地域に住む人や乗り換える人が利用できる施設が必要。

- 歩行者広場や交通広場，店舗等は駅利用者が快適に利用できるようにしてほしい。
- この先の具体的なスケジュールについて，次回以降示してほしい。
 - 権利者の方々との合意形成が今後のスケジュールに大きく影響すると考えている。
 - また，事業手法によってもスケジュールが異なることから次回以降示していく。
- 西国分寺駅北口付近のお店は，カレー屋さん，ラーメン屋，イタリア料理が健闘している。これらはそれぞれに文化をもっていることが魅力だと思うので，文化などをイメージして検討するべきではないか。
 - 文化は重要な視点であり，駅周辺整備においても念頭に入れながら検討して行く必要があると思う。
- 昭和レトロを全面に出し，飲食や駄菓子屋などがあってもいいと思う。大規模なスーパーは無くていい。
- 立川駅北口方面のグリーンスプリングス周辺は，モノレールの両脇に商店と南北の通路が活用されて，雰囲気がとても良い。このような雰囲気が出るとおしゃれな感じで良い。
- 次回以降は事業手法の利点・欠点を含めた一般的な話を早く聞きたい。
 - 事業手法ありきで進めるというよりは，まずは駅前のあり方を検討していきたい。
 - 今後，事業手法については紹介させていただく。

令和4年10月6日（木）

- ・場 所 いずみホールBホール
- ・時 間 午後7時～午後8時25分
- ・参加者 13名



■主な意見等

- 大きな歩行者広場が良い。西国分寺駅北口は地域のお祭りができるスペースがなく，みんなが集まれる場所があった方が良い。
- 元々検討している範囲を考えると小さな歩行者広場で良い。北口周辺の全体的な範囲で大きな「都市の中庭」的な広場があれば素敵だと思う。駅前に大きな歩行者広場があると，高齢者や障害者の車両利用が不便ではないか。
- 国分寺駅北口再開発により，様々な店舗が入ったが似たような店が多い印象である。一方で西国分寺駅北口は個性的な小規模店舗が並び，このような駅はあまりない。また，駅から住宅が近いこの距離感は大事にしたい。今ある雰囲気を維持して少し使い

やすくする程度で良く、中規模から小規模程度のスペースで緑を植えると良い。

→個性的な店舗、駅と住宅の距離感などの地域性を大事にするという考えは、まちづくり計画策定の中でも意見としてあり、その点は踏まえていきたい。

- これから市民など対象に広く意見を聞いていくのか。住民としては、歩行者広場は要らないと思っており、今ある施設で用が済むので全体的に要らない。

→今後、適宜検討段階に応じて、広く意見は聞いていきたいと考える。

- 整備エリア内に自宅があると様々不安を感じる。また、その近隣に住んでいても今の静かな生活が送れるか懸念する。財政的にも潤沢な財源が無いと思うので、空き地の整備にとどめるなど消極的な開発の流れも検討して良いのではないかと。

→今現在建築物が無い空地については重々承知している。西国分寺駅が開設してから、北口は整備されないまま宅地化が進み、十分な幅員が無い道路が多いなど防災上問題がある。行政として、基盤整備を担っていく立場として駅前の整備が必須と認識している。また、まちづくり計画策定時の議論でも現状の空地だけ活用した整備とし、駅前に何も無い開発を進めるという話はなかった。利便性や公共的な施設、交通アクセス等、災害上の問題に対する整備は必須であり、それを踏まえて、駅前の姿を更に詳細に検討して行く段階にあると考えている。

- イベントのための広場は大きい方が良いと思うが、資料に示す「都市の中庭」にあたる部分に広場を整備するのか。「都市の中庭」を整備するのなら、駅前で大きな歩行者広場としなくて良い。

→「都市の中庭」という位置づけはあるが、具体的なことは決定していない。今回の検討エリアからは外れているが、具体的に整備する際はイメージを共有しながら議論を重ねていく必要があると考えている。

- 西国分寺は、国分寺、国立、立川の様な賑やかな商店街の雰囲気ではなく、ほとんどが住宅街である。日常利用を考慮して、小スペースが良い。

- 改札を出て、広い空間は価値が高く、国立駅でも見晴らしの良いホームがある。武蔵野線のホームから一望できる街並みは宣伝効果があり、西国分寺駅周辺は公共施設もあり非常に環境が良い。駅前のタワーマンションは都会的だが魅力的でないため、駅から降りて開放感があり住民にも良い場所に住んでいると思える整備にしてほしい。

- 障害者が雨に濡れずに車に乗降できるスペースがほしい。最低限、緊急車両が入れる交通広場が必要。現在商店が並ぶエリアで火災が発生したら延焼するので防災面も考えてほしい。西国分寺駅の南口はあまり素敵ではないので、もっと素敵で防災面を考慮した広場としてほしい。

→これまでも、シェルター設置やベビーカーが行けるようにしてほしいとの声があった。緊急車両について、現状このエリアは多くの課題があるので改善に向けて検討

して行く。

- 最低限自動車の通行が安全で、緊急車両のルートが確保され安全に利用できる計画としてほしい。
- 前回示されたケーススタディでは交通広場が駅に直結している計画が無く、離れているようだが、駅前に交通広場を整備する案は無いのか。
→ケーススタディは可能性という面で示しているもので決定したものではない。今後の検討の中で詳細に決まっていく。
- 西国分寺駅南口と同じような整備は必要なく、大きな交通広場は要らないと思うが、緊急車両が止められて、屋根があってバリアフリーの観点を考慮したものが良い。交通広場は、利便性を考えて駅舎に近い方が良いと思う。
- 歩行者と車両の交錯を防ぎ、利用者の多い自転車とコミュニティバスにも公平に利用できる計画としてほしい。
- 銀行と郵便局がほしい。特に都市銀行があったら良い。コンビニではなく小規模なスーパーが良い。
- コンビニや小さな飲食店はすでにあり、南口にはマインがある。周辺にはスーパーが多くあり、日常の買い物には困っていないので北側には新たに必要ない。
- 歩行者と車と自転車を分けて、小規模な交通広場を駅前に配置すると店舗のスペースが確保できなくなると思う。ちょっとしたカフェや個性的で地元のを活かせるお店が良い。
- 立川駅北口方面のモノレール沿い「サンサンロード」は歩きやすく、明るい通りでも良い。グリーンスプリングスには屋上に庭園がありイベントなど開催している。このようなみんなが集まれる通り、歩きたくなる駅前があると良い。
- 立川のグリーンスプリングスは条件が違いすぎる。西国分寺駅の様な小さな駅と一緒にするのはどうかと思う。
→規模的に違いがあるが、イメージは大切なご意見として検討を進めていきたい。
- 駅の近くには高層なものは必要なく、中層の建物を建築して日常的な利用者が生活できることと外部からの来街者との融合で成り立ち、それがうまく行けば外側に広がっていくと思う。その起爆剤として駅前はしっかりとした機能を持たせ、住宅も考えてもらいたい。資金面では民間を活用しなければ、実現困難だと思うので、市施行ではなく、民間を活用して早期に進めることが大事である。
- 前回の説明よりだいぶ具体性が出来てきて、少し自分のイメージが湧いてきたと感じている。姿見の池の利用者と駅前北口と繋がられるような動線があると広がりがあった良い。